Panasonic®

取扱説明書

ブルーレイディスク プレーヤー

品番 DMP-BDT330

本機を使用していただくためのサポート情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

- ■ **ブルーレイディスク/DVD関連情報（動作確認情報など）**
- ■ **ソフトウェアの更新** （12 ページ）

当社はお客様に最新技術を楽しんでいただけるよう、本機のソフトウェアを随時更新しています。
ソフトウェア更新のお知らせがあった場合、すぐに更新していただくことをお勧めします。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に **「安全上のご注意」（35 ～39 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

VQT4X03

「安全上のご注意」を必ずお読みください。
（➜ 35～39ページ）

目次

はじめに

接続

再生

設定

必要なとき

無許可コピーコンテンツの利用制限について
本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について
本書内で参照していただくページを (➜ ○○) で示しています。

付属品を確認する

リモコン（1 個）
N2QAYB000899

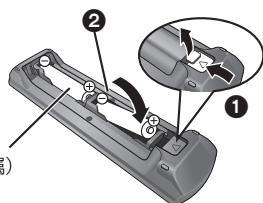
リモコン用乾電池（2 本）
単３形乾電池

電源コード（1 本）
K2CA2YY00217

📖

- 付属品、別売品の品番は、2013 年 2 月現在のものです。変更されることがあります。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

リモコンの準備

電池を入れてください。

単３形乾電池（付属）

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部 **(➜ 7)** に向けて、まっすぐ操作してください。

取り扱いについて

本機の設置場所

- アンプなどの熱源となるものの上に置かないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- 重いものを上に載せないでください。

本機
アンプ

📖

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（別売 RP-CL720A ※）でほこりなどの除去をお勧めします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

※ディーガ用として販売されていますが、本機でもご使用になれます。

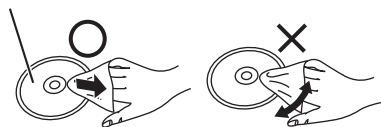
ディスク、カード

持ち方

信号面や端子部には手を触れない

ディスクが汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面（光っている面）
内側から外へ

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、
アルコールでふかない

- ディスククリーナー（別売 RP-CL750）のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ·シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ·印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ·傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ·以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ·カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースなどに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。**(➜ 27「お買い上げ時の設定に戻すには？」)**

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

再生できるメディアについて

メディア	代表的なロゴ	メディアの種類	再生できる内容
BD	Blu-ray Disc	BD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		BD-RE	録画番組、JPEG、 3D 写真（MPO）
		BD-R※1	録画番組、MKV
DVD	DVD VIDEO	DVD ビデオ	市販またはレンタルソフト
	DVD R R4.7	DVD-R	録画番組※2、AVCHD、 MKV、JPEG、3D 写真 (MPO)、AAC、FLAC、 MP3、WAV、WMA
	DVD R R DL	DVD-R DL	
	DVD R W	DVD-RW	録画番組、AVCHD
	–	+R/+RW/+R DL	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽 CD	CD-DA 方式に準拠する市販または レンタルソフト
	–	CD-R CD-RW	MKV、JPEG、 3D 写真（MPO)、AAC、 CD-DA 方式に準拠して記録された音楽や音声、FLAC、 MP3、WAV、WMA
SD	SD XC	SD メモリーカード （8 MB ～ 2 GB まで） SDHC メモリーカード (4 GB ～ 32 GB まで) SDXC メモリーカード （48 GB、64 GB） （mini タイプ、micro タイプにも対応）	AVCHD、AVCHD 3D、 MP4、JPEG、3D 写真 (MPO)
USB	–	USB 機器 (2 TB まで)	MKV、MP4、MPEG2、 JPEG、3D 写真（MPO)、 AAC、FLAC、MP3、 WAV、WMA

※ 1　LTH type も再生できます。

※ 2　AVCREC を含みます。

- メディアやコンテンツについては、「再生できないディスク」**(➜ 6)**、「ファイルフォーマット」**(➜ 31)** もご参照ください。

■ 再生できないディスク

下記のディスクや前ページでご紹介していないディスクは再生できません。

- DVD-RAM
- SACD
- Photo-CD
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- HD DVD
- BDXL

■ リージョンコード・番号について

BD ビデオや DVD ビデオには、発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコード・番号があります。

BD ビデオ

本機のコードは「A」です。「A」(または「A」を含むもの)が表示されたディスクを再生できます。

例)

DVD ビデオ

本機の番号は「2」です。「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたディスクを再生できます。

例)

■ ファイナライズ

DVD-R/RW/R DL や +R/+RW/+R DL 、CD-R/RW を本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。
ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ BD ビデオ

本機は BD ビデオの高音質なサラウンド音声 (Dolby® Digital Plus、Dolby® TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) に対応しています。

■ 3D

- 本機と3D対応テレビをHigh Speed HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像と 3D 写真を再生できます。
- 2D 映像を擬似的に 3D 映像として楽しむこともできます。**(➜ 21)**

■ 音楽 CD

CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。

■ SD カード

- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカード、および exFAT 形式でフォーマットされた SDXC メモリーカードに対応しています。
- 非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなることがあります。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

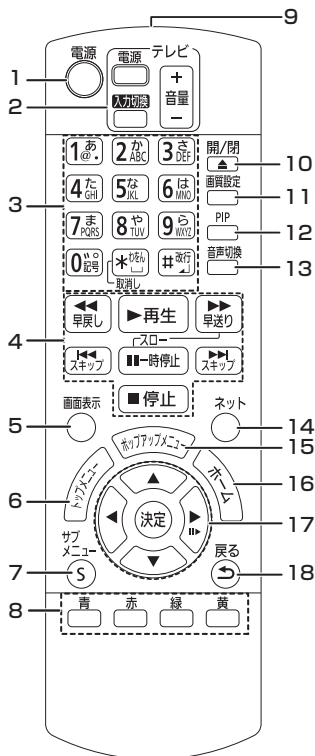
パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ USB 機器

- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB 機器を充電することはできません。
- 本機は FAT12、FAT16 、FAT32、NTFS 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機はハイスピード USB(USB2.0 準拠)に対応しています。
- 本機は FAT32、NTFS 形式でフォーマットされた HDD(ハードディスク)に対応しています。HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。

📖

- 使用するメディア、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作り方により再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。

各部の働き

1 本機の電源

2 テレビ操作部
本機のリモコンでテレビの操作をすることができます。

3 タイトル番号などを選ぶ / 数字を入力する
[取消し] : 入力した数値などを取り消す

4 再生時の基本操作 (➜ 14)

5 再生状態を確認する (➜ 15)

6 トップメニューを表示する (➜ 15)

7 サブメニューを表示する (➜ 20)

8 カラーボタン
画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する

9 リモコン送信部

10 ディスクトレイを開閉する (➜ 13)

11 画質を選択する (➜ 21)

12 副映像を入 / 切する (➜ 21)

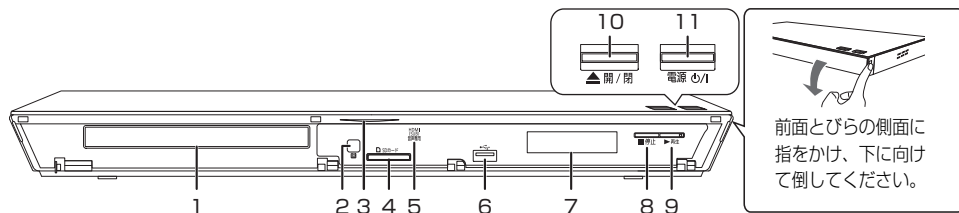
13 音声を切り換える (➜ 14)

14「テレビでネット」のポータルサイト画面を表示する (➜ 17)

15 ポップアップメニューを表示する (➜ 15)

16 ホーム画面を表示する (➜ 13)

17 選択および決定する

18 前の画面に戻る

1 ディスクトレイ (➜ 13)

2 リモコン受信部
受信範囲　正面…約 7 m 以内
左右…各約 30°
上下…各約 20°

3 センターイルミネーション
点灯・消灯の設定ができます。(➜ 26)

4 SD カードを入れる (➜ 13)

5 HDMI(SUB) 音声専用ランプ
点灯・消灯の設定ができます。(➜ 26)

6 USB 機器を接続する (➜ 13)

7 本体表示窓

8 停止する (➜ 14)

9 再生する (➜ 14)

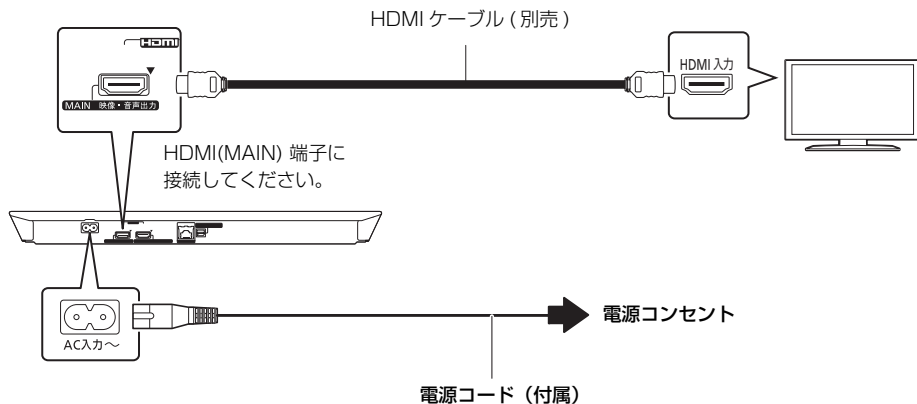
10 ディスクトレイを開閉する (➜ 13)

11 電源を切 / 入する [電源 ⏻/I] (➜ 12)

本体背面の端子については
(➜ 8 ～ 11)

テレビと接続する

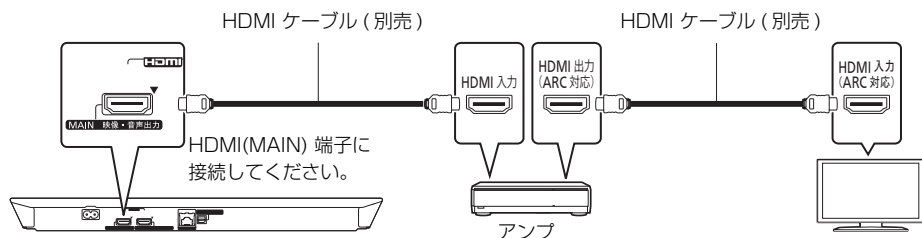
全ての接続を終えた後に電源コードの接続をしてください。

- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。各機器の説明書もご覧ください。
- HDMI ケーブルは 、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  当社製 HDMI ケーブルを推奨します。

節電のために

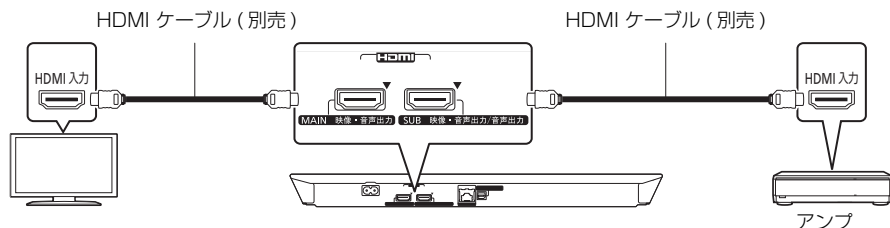
- 電源を切った状態でも、電力を消費しています。**(➜ 31)** 長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。

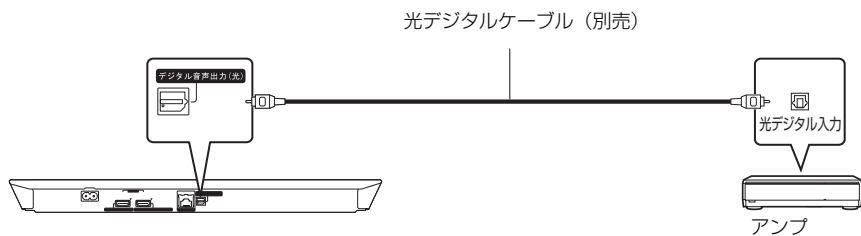
電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

アンプと接続する

HDMI(MAIN) 端子

- 「デジタル出力」を設定してください。**(➜ 23)**
- 3D 非対応のアンプに接続する場合は、本機とテレビを接続し、テレビとアンプを接続してください。ただし、音声は最大で 5.1ch になります。
- ARC 非対応のテレビまたはアンプ（HDMI 端子に「ARC 対応」の表示なし）を使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

HDMI(SUB) 端子

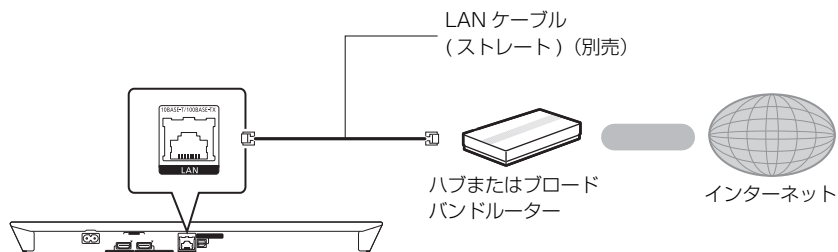
HDMI(SUB) 端子を使用すると、より高音質でお楽しみいただけます。

- 「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定してください。**(➜ 22)**
  – アンプの 3D 対応、非対応に関わらず、音声を高音質で出力します。
- アンプが 3D 非対応でも、テレビが 3D 対応の場合、3D 映像や 3D 写真を再生することができます。
- HDMI(MAIN) 端子での接続のみ、HDMI CEC に対応しています。**(➜ 17)**
  HDMI(SUB) 端子 は HDMI CEC に対応していません。

デジタル音声出力（光）端子

- 「HDMI 音声出力」を「切」に設定してください。**(➜ 23)**
- 「デジタル出力」を設定してください。**(➜ 23)**

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

- ソフトウェアを更新する **(➜ 12)**
- BD-Live を楽しむ **(➜ 16)**
- インターネットサービスを楽しむ **(➜ 17)**
- 別の機器のコンテンツを楽しむ（ホームネットワーク）**(➜ 18)**

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

- 周辺機器に接続するときは、カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

設定をする

かんたん設置設定・かんたんネットワーク設定をする

お買い上げ後初めて電源を入れると、基本的な設定を行う画面が表示されます。

準備
テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える
（例：HDMI1 など）

1 電源 ◯を押す
設定画面が表示されます。

2 画面の指示に従い、設定を行う
「かんたん設置設定」終了後、「かんたんネットワーク設定」を行うことができます。

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 「かんたん設置設定」**(➜ 25)** や「かんたんネットワーク設定」**(➜ 24)** を選んで設定をやり直すことができます。
- 「ネットワーク通信設定」**(➜ 24)** で、それぞれの項目を設定し直すこともできます。

リモコンの設定をする

当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式を採用しているため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまうことがあります。
このときは、リモコンモードを変えてください。
(➜ 26)

ソフトウェアの更新

動作の改善や、新機能の追加のために、当社は本機のソフトウェアを随時更新しています。

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。
最新のソフトウェアになっていない場合、下記のメッセージが表示されます。

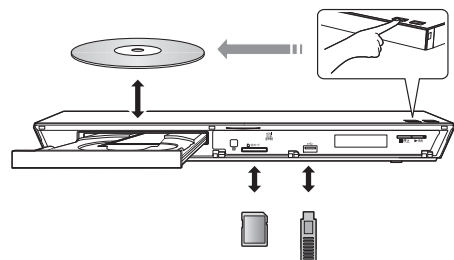
最新のソフトウェアが見つかりました。
初期設定から更新を行ってください。

ソフトウェアを更新するには
① **[ホーム]** を押す
② **[決定]** で「設定」を選ぶ
③ 「初期設定」を選ぶ
④ 「システム設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「ソフトウェア更新」を選び、**[決定]** を押す
⑥ 「ソフトウェア更新の実行」を選び、**[決定]** を押す

ソフトウェアの更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となりますので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。
更新が完了すると、本体表示窓に「FIN」が表示されます。本機は自動的に再起動し、下記の画面が表示されます。

ソフトウェアの更新が完了しました。
現在のバージョン: x.xx
決定
戻る

- ソフトウェアの更新は「ソフトウェア更新」を選ぶことでいつでも実行できます。**(➜ 26)**
- ソフトウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、下記のウェブページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることができます。CD-R にコピーした後、本機に入れることでソフトウェアを更新することができます。
http://panasonic.jp/support/bd/
ソフトウェアのバージョンを確認するには **(➜ 26「ソフトバージョン情報」)**
- 更新は数分かかります。お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。
- 本機の電源を入れたときに最新のソフトウェアかどうかの確認を行わない場合は、「ソフトウェアの自動更新確認」を「切」に設定してください。**(➜ 26)**

ディスク・SD カード・USB 機器を入れる

- メディアを正しい向きに挿入してください。
- SD カードを取り出すには、SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出してください。
- 当社製機器と USB 接続ケーブルで接続した場合、接続機器側の設定を行ってください。
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

ホーム画面について

ホーム画面から本機の主な機能を操作することができます。

準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える

1 電源 ◯ を押して本機の電源を入れる

2 決定 や [▲][▼][◀][▶] で項目を選ぶ

- さらに他の項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

動画 / 写真 / 音楽

ディスク USB SD カード	メディアを再生します。**(➜ 14)** ● 複数のコンテンツが記録されている場合は、コンテンツの種類やタイトルを選択してください。

ネットワーク

テレビでネット	「テレビでネット」のポータルサイト画面を表示します。**(➜ 17)**
ホームネットワーク	お部屋ジャンプリンク **(➜ 18)**
	メディアレンダラー **(➜ 19)**

設定

初期設定	**(➜ 22)**
ＵＳＢ 管理	**(➜ 16)**
壁紙設定	ホーム画面の壁紙を変更します。

ホーム画面を表示するには

[ホーム] を押す

- メディアによって、表示される項目は異なります。
- データ (MP3、JPEG など) と動画（BDAV、AVCHD）の混在したディスクを再生するときは、必要に応じて「混在データディスク設定」の設定をしてください。**(➜ 26)**

再生する

1 メディアを入れる

メディアによっては再生が始まります。

2 項目を選び、決定 を押す

さらに他の項目がある場合は、この手順を繰り返してください。

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは **[■ 停止]** を押して停止させてください。
- MKV: 連続して再生することはできません。
- パソコンでメディアにドラッグ＆ドロップやコピー＆ペーストした AVCHD や MPEG2 は再生することができません。
- 再生をしていない状態（一時停止中、メニュー画面表示中、写真表示中などを含む）で約 30 分以上操作を行わないと、節電のため自動的に電源が切れます。

再生中の操作

メディアやコンテンツによっては機能しないものもあります。

停止

■停止 を押す

停止位置を記憶します。

続き再生メモリー機能

[▶ 再生] を押すと停止位置から再生が始まります。

- 記録された停止位置はメディアを取り出すと、解除されます。
- **BD-J が含まれる BD ビデオは、続き再生メモリー機能が働きません。**

一時停止

II一時停止 を押す

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し / スロー再生

早送り・早戻し

再生中に ◀◀早戻し または ▶▶早送り を押す

スロー再生

一時停止中に **を押す**

押すごとに、または押したままにすると、速度が速くなります。（5 段階）

- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- MP3/ その他の音楽 : 早送り･早戻しは 1 段階の速度のみ働きます。音声は出ません。

スキップ

再生中または一時停止中に |◀◀スキップ または ▶▶|スキップ を押す

タイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。

コマ送り

一時停止中に ▶ を押す

- 押したままにすると連続してコマ送りします。
- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。

音声を切り換える

音声切換 を押す

音声チャンネルや音声言語などを変更することができます。

メニューや再生状態を表示する

メニューを表示する

[ポップアップメニュー] または [トップメニュー] を押す

- 項目を選び、**[決定]** を押してください。

再生状態を確認する

再生中に [画面表示] を押す

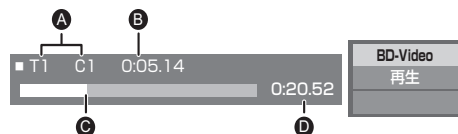
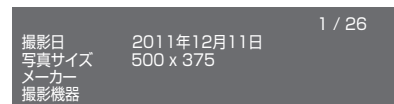
現在の再生状態の情報を表示します。押すごとに切り換わります。

- メディアやコンテンツによっては、画面の表示が異なったり、メニュー画面などが表示されない場合があります。

例）BD ビデオ

Ⓐ T: タイトル、C: チャプター、PL: プレイリスト
Ⓑ 経過時間
Ⓒ 現在の再生位置
Ⓓ 総再生時間

例）JPEG

1 / 26
撮影日　2011年12月11日
写真サイズ　500 x 375
メーカー
撮影機器

3D 映像 / 写真を楽しむ

準備

本機と 3D 対応テレビを接続する **(➜ 8、9)**

- テレビ側で必要な準備を行ってください。
- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。
- 3D 設定 **(➜ 21、23)**

📖

- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「HDMI 出力解像度」**(➜ 22)** や「24p(4K)/24p 出力」**(➜ 22)** の設定どおりに出力されない場合があります。
- 「写真」から 3D 写真を再生する場合は、「3D」から選んでください。(「2D」からは 2D 再生になります)
「2D」および「3D」が表示されない場合は、再生一覧の表示を切り換えるために **[青]** を押してください。

BD-Live を楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続してさまざまな機能を楽しむことができます。
BD-Live 機能を使う場合、インターネット接続中は、USB 機器の接続が必要です。

1 ネットワーク接続と設定をする
(➜ 11、12)

2 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する

● USB 機器はローカルストレージとして利用します。

3 ディスクを入れる

■ USB 機器内のデータの消去

ホーム画面で「USB 管理」**(➜ 13)** を選び、「BD ビデオデータ消去」を選び、**[決定]** を押す。

📖

- お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。
- ディスクによっては、「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。**(➜ 24)**

スライドショーを見る

写真のスライドショー再生と再生時の設定を行うことができます。

1 メディアを入れる

2 「写真」を選ぶ

3 項目を選び、[黄] を押す

下記の項目が設定できます。

スライドショー開始	スライドショーを開始します。 一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します。
表示間隔	表示間隔を変更します。
表示効果	写真切り換え時の効果を選択します。
リピート	スライドショーの繰り返し再生を設定します。

📖

- “ ☒ ”の表示になっている写真は、本機では再生できません。

HDMI CEC を使う

HDMI CEC(Consumer Electronics Control) とは
本機と HDMI 端子（HDMI(MAIN) 端子のみ）を使って接続した HDMI CEC 対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。
各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

準備

① 「HDMI CEC 制御」を 「入」にする **(➜ 25)**
(お買い上げ時の設定は「入」です)
② 接続した機器側（テレビなど）で、HDMI CEC が働くように設定する
③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する（接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください）

入力自動切換え / 電源オン連動

本機で再生を開始すると、テレビは自動的に入力を切り換え、プレーヤーの画面を表示します。
さらにテレビの電源が切れている場合は、自動的に電源が入ります。

電源オフ連動

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機を含め HDMI CEC で接続している機器はすべて自動的に電源が切れます。

- 本機は HDMI CEC に対応していますが、すべての HDMI CEC 対応機器との動作保証をしているわけではありません。

テレビでインターネットを楽しむ

本機ではインターネットを利用して動画共有サイトなどのサービスを楽しむことができます。

準備

- ネットワーク接続と設定をする **(➜ 11、12)**

1 ネット ◯ **を押す**

「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。

2 **項目を選び、**決定 **を押す**

- 操作方法は画面の指示に従ってください。

テレビでネットを終了するには

[ホーム] を押す

- 「テレビでネット」のポータルサイト画面に表示されないサービス（インターネット上のホームページの閲覧など）は利用できません。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。**(➜ 12)**
更新を行わない場合、「テレビでネット」を正しくご利用できない場合があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

インターネットの閲覧制限について

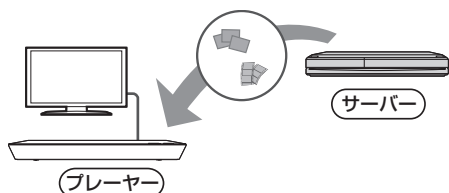
本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくない動画サイトなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。
制限機能を使用する場合は、「テレビでネット視聴制限」を「入」に設定してください。**(➜ 25)**

- 「テレビでネット」を利用するには、暗証番号の入力が必要になります。

再生

別の機器のコンテンツを楽しむ

ネットワーク接続された DLNA 対応機器のコンテンツを楽しむことができます。

ディーガなどのコンテンツを再生する（お部屋ジャンプリンク）

当社製ディーガなど DLNA 対応機器に保存された映像や写真などを、本機から操作して再生することができます。

- コンテンツが記録された機器をサーバーといいます。
- 接続する DLNA 対応機器をネットワーク接続する必要があります。
- 再生可能ファイルフォーマットについては (➜ 32)
- 当社製 DLNA 対応機器などの情報は当社ホームページをご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/r_jump/
  (2013 年 2 月現在)

準備

① ネットワーク接続と設定をする (➜ 11、12)
② 接続機器のホームネットワーク設定をする
- 本機と接続した機器側で、本機をアクセスできるようにしてください。
- 本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1 ～ 5 の操作を行ってください。
- ディーガなど接続機器の設定や操作方法の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

1

を押す

2 「ネットワーク」を選ぶ

3 「ホームネットワーク」を選ぶ

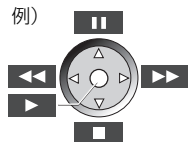
4 「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ

- リモコンの **[青]** を押すと、一覧を更新することができます。

5 ディーガなどを選び、決定を押す

選んだ機器の画面が表示されます。
以降の操作については、接続した機器の説明書もご覧ください。

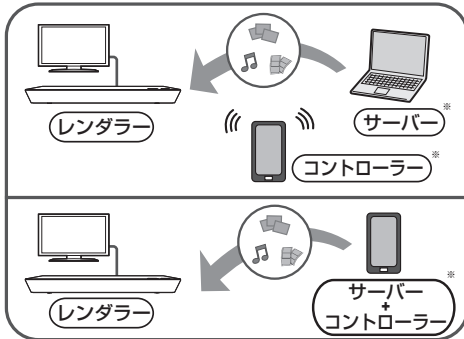
- コンテンツによっては **[サブ メニュー]** を押すと便利な機能をお使いいただけます。
- 再生操作パネルは再生を始めると表示されます。再生操作パネルが表示されない場合は **[決定]** を押し、非表示にする場合は **[戻る]** を押してください。

例）

お部屋ジャンプリンクを終了するには

[ホーム] を押す

DMC から操作して DLNA サーバーのコンテンツを再生する

スマートフォンやタブレットなどの DMC（デジタルメディアコントローラー）対応機器を操作して、レンダラー (本機) 上で DLNA サーバーのコンテンツを再生することができます。

使用例）

※ DMC と互換性を持つソフトウェアをインストールしてください。

準備

18 ページの準備①、②の操作後、下記操作を行ってください。

③ Windows Media® Player のライブラリやスマートフォンなどにコンテンツやフォルダを追加する
- Windows Media® Player のプレイリストからは、ライブラリに保存されたコンテンツしか再生できません。

④ 「リモート機器設定」を行う **(➜ 24)**
- １６台まで登録できます。

1 **を押す**

2 「ネットワーク」を選ぶ

3 「ホームネットワーク」を選ぶ

4 「メディアレンダラー」を選ぶ

5 DMC 対応機器を操作する

メディアレンダラーを終了するには

[ホーム] を押す

接続機器の設定および操作方法、互換性については、当社ホームページや接続機器の説明書をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できません。
- DMC 以外から本機を操作することはできません。

再生

再生設定をする

再生方法のさまざまな設定をすることができます。設定が可能な項目はコンテンツや機器の状態によって異なります。

1 サブメニュー (S) **を押す**

● 音楽再生時は「再生設定」を選び、**[決定]** を押してください。

例）BD ビデオ

2 項目を選び、設定を変更する

設定を終了するには
[サブ メニュー] を押す

言語については **(➜ 32)**

操作メニュー

■ 音声情報
音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

■ 音声チャンネル
音声（L/R）を切り換えます。

■ 字幕設定
字幕の設定を変更します。

■ アングル
アングルを選びます。

■ リピート
繰り返し再生の方法を選びます。
● メディアによりリピートの種類は異なります。
● 取り消すには、「切」を選んでください。

■ ランダム
順不同で再生します。

■ スライドショー開始
スライドショーを開始します。

■ 画面表示
再生状態を表示します。

■ 右 90°回転
■ 左 90°回転
写真を回転します。

■ 壁紙登録
ホーム画面の壁紙を設定します。**(➜ 13)**

■ 映像情報
映像の記録方法を表示します。

■ 主映像情報
主映像の記録方法を表示します。

■ 副映像設定

映像情報	映像の入 / 切を選びます。映像の記録方法を表示します。 ● 早送り・早戻し / スロー再生またはコマ送り中は、主映像のみ再生されます。
音声情報	音声や言語の入 / 切を選びます。

■ トップメニュー
トップメニューを表示します。

■ ポップアップメニュー
ポップアップメニューを表示します。

■ メニュー
メニューを表示します。

映像設定

■ 画質選択
再生時の画質を選びます。
●「ユーザー」を選ぶと、さらに「詳細画質設定」を設定できます。

■ 詳細画質設定
画質の詳細な設定を行うことができます。

■ プログレッシブ
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●「オート」でぶれが生じる場合は、「ビデオ」を選んでください。

■ 24p
DVD ビデオに 24p 記録された映画やその他の素材を 24p 出力します。
●「24p(4K)/24p 出力」が「24p(4K)」または「24p」の場合のみ有効です。**(➜ 22)**

■ 映像設定を標準に戻す
映像設定をお買い上げ時の設定に戻します。

音声設定

■ シネマボイス
センターチャンネルの音量を大きくして、セリフを聞き取りやすくします。
●「デジタル出力」が「PCM」のときに、HDMI 端子からマルチチャンネル音声を出力する場合のみ有効です。**(➜ 23)**

3D 設定

■ 出力方式

オリジナル	元の映像で表示します。
サイドバイサイド	2 画面表示の映像を 3D 再生します。
2D → 3D 変換	2D 映像を擬似的に 3D 映像に出力します。

■ 奥行き
画像の飛び出し量を設定します。

■ 画面表示の飛び出し量
3D 再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

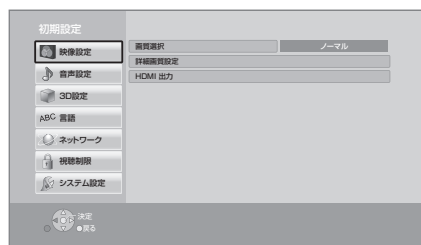
設定

本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されています。
いくつかの項目は再生設定と共通です。どちらからも同様の設定変更を行うことができます。

1 を押す

2 決定 で「設定」を選ぶ

3 「初期設定」を選ぶ

4 項目を選び、設定を変更する

画面を消すには

[ホーム] を押す

映像設定

■ 画質選択 (➜ 21)

■ 詳細画質設定 (➜ 21)

■ HDMI 出力

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ HDMI 出力解像度

接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 「オート」を選ぶと、接続した機器に適した解像度を自動で選びます。
- 1080p へ変換されたハイビジョン映像を楽しむ場合、本機と1080p 対応のハイビジョンテレビを直接接続してください。本機とハイビジョンテレビの間に他機器を接続する場合、接続する機器も 1080p に対応している必要があります。

➢ 24p(4K)/24p 出力

映画など 24p※1 記録された素材の出力方法を選びます。

24p(4K)	4K※2 信号へ変換し出力します。
24p	24 p 出力します。

- 本機の HDMI(MAIN) 端子と 4K または 1080/24p 出力に対応したテレビを接続してください。
- 「24p(4K)」は 2D 再生時のみ有効です。
- DVD ビデオを 24p 出力するには、この設定を「24p(4K)」または「24p」に設定し、「映像設定」**(➜ 21)** で「24p」を「入」に設定してください。
- 24p 以外の BD ビデオや DVD ビデオなどの素材は60p で出力されます。

➢ HDMI カラースペース

映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

➢ Deep Color 出力

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

➢ コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生するコンテンツによってテレビが最適な方法に調整し出力します。

➢ HDMI(SUB) 出力モード

HDMI(SUB) 端子からの映像を出力するかどうかを設定します。

※ 1　24 コマ / 秒で記録されたプログレッシブ（順次走査）方式です。BD ビデオの映画ソフトは、多くが映画フィルムに合わせて 24p で記録されています。
※ 2　横 4000× 縦 2000 ピクセル前後の高解像度の映像・表示技術です。

音声設定

■ シネマボイス (➜ 21)

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効です。
- 「オート」を選ぶと、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

■ デジタル出力
[決定] を押して、さらに設定します。

➢ Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD
➢ DTS/DTS-HD
➢ AAC
音声の出力信号を選びます。
- 上記のデコーダーを搭載していない機器と接続する場合は、「PCM」を選んでください。本機でデコードした音声を接続機器へ伝送します。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーが破損するおそれがあります。

➢ BD ビデオ副音声・操作音
主音声と副音声をミックスして出力します。（操作音を含む）
- 「切」を選ぶと、操作音・副音声は出力されません。

➢ HDMI 音声出力
音声を HDMI 端子から出力するかどうかを設定します。
- テレビと HDMI ケーブルで接続し、アンプなどとデジタル音声出力（光）端子で接続するときは、「切」を選んでください。

■ PCM ダウンサンプリング変換
サンプリング周波数96 kHzで収録された音声をデジタル音声出力（光）端子から PCM 出力する方法を選びます。
- 96 kHz に非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にします。
- 以下の場合、48 kHz に変換されます。
  – サンプリング周波数が 192 kHz 以上の信号
  – 著作権保護処理がされているディスク
  – 「BD ビデオ副音声・操作音」が「入」

■ ダウンミックス
マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続するときは、「ドルビーサラウンド」を選んでください。
- 「デジタル出力」が「Bitstream」のときは、ダウンミックスの効果はありません。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  – AVCHD 再生時
  – BD ビデオ：副音声や操作音を含んでの再生時

■ DTS Neo:6
2ch (2.1ch) 音声を 7ch (7.1ch) へ拡張して出力します。
- 以下の条件を満たしている場合に有効です。
  – 音声を HDMI 端子から出力する
  – PCM 以外の音声は「デジタル出力」が「PCM」に設定されている
  – 96kHz 以下の音声を出力する

3D 設定

■ 3D ディスクの再生方法
3D ディスクの再生方法を選びます。

■ 3D 撮影ビデオの出力方法
3D 撮影ビデオの出力方法を選びます。

■ 3D 再生時の注意表示
3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

■ 画面表示の飛び出し量 (➜ 21)

言語

■ 音声言語

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」を選ぶと、ディスクの最優先言語で再生します。
- 「その他 ＊＊＊＊」を選んだ場合、言語番号 **(➜ 32)** を入力してください。

■ 字幕言語

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。
- 「その他 ＊＊＊＊」を選んだ場合、言語番号 **(➜ 32)** を入力してください。

■ メニュー言語

テレビ画面に表示される言語を選びます。

- 「その他 ＊＊＊＊」を選んだ場合、言語番号 **(➜ 32)** を入力してください。

ネットワーク

■ かんたんネットワーク設定 (➜ 12)

■ ネットワーク通信設定

ネットワーク関連の設定を個別に設定することができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ IP アドレス /DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ リモート機器設定 (➜ 19)

[決定] を押して、さらに設定します。

リモート機器操作

DMC による操作を有効にします。

- 「入」にすると「クイックスタート」が有効になります。

本機の名称

接続機器側で表示される本機の名称を設定します。

アクセス許可方法

自動	本機にアクセスしたすべての機器の接続を自動で許可します
手動	本機にアクセスした機器の接続を個別に許可するかどうかを設定します

機器一覧

「アクセス許可方法」で「手動」を選択している場合、表示された機器の登録および登録の解除をすることができます。

➢ BD-Live インターネット接続 (➜ 16)

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

- 「有効 (制限付き)」が選ばれていると、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可します。

視聴制限

入力した暗証番号は、以下の設定で共通です。
暗証番号は忘れないでください。

■ DVD-Video の視聴制限

DVDビデオの視聴制限ができます。

■ BD-Video の視聴可能年齢

年齢制限された BD ビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。

■ テレビでネット視聴制限

「テレビでネット」の視聴制限ができます。

システム設定

■ かんたん設置設定

本機の基本的な設定を行います。

■ TV 設定

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ TV アスペクト

接続したテレビに合わせて設定します。

4：3 テレビで 16：9 の映像を再生する場合

パン&スキャン	映像の左右が切られて、画面いっぱいに再生します。 BD ビデオの映像は「レターボックス」で再生します。
レターボックス	16：9 の映像の上下に帯をつけて再生します。

16：9 ワイド画面テレビで 4：3 の映像を再生する場合

16：9	4：3 比率のまま画面中央に再生します。
16：9 フル	16：9 に引き伸ばされて再生します。

➢ テレビ画面の焼き付き低減機能

テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。

- 「入」に設定時、再生一覧画面表示中に 10 分以上操作を行わないと、自動的にホーム画面に切り換わります。
- 再生中や一時停止中などの操作中は働きません。

➢ 画面表示動作〔オート〕

操作時の表示をテレビ画面に自動で表示するかどうかを設定します。

➢ HDMI CEC 制御

HDMI CEC に対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。

- この機能を使わないときは、「切」を選んでください。

■ 本体設定

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ 混在データディスク設定

複数のファイルフォーマットが入ったディスクの再生項目を選択します。

- 「MP3/JPEG/MKV」を選ぶと、動画は再生できません。
- 「BDAV/AVCHD」を選ぶと、データファイルは再生できません。

➢ 本体表示窓の明るさ

本体表示窓の明るさを調節します。

- 「オート」を選ぶと、再生中は暗くなり、それ以外は明るくなります。

➢ センターイルミネーション

電源が入っている時に本機中央の青色ランプを点灯させるかどうかを設定します。

➢ HDMI(SUB) 音声専用ランプ制御

“HDMI(SUB) 音声専用ランプ”を点灯させるかどうかを設定します。
(「HDMI(SUB) 出力モード」**(➜ 22)** が「音声専用」の場合のみ)

■ クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力 **(➜ 31)** が増えます。

■ リモコンモード

リモコン操作時に本機以外の当社製機器が反応するときは、リモコンモードを変えてください。

■ ソフトウェア更新 (➜ 12)

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ ソフトウェアの自動更新確認

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認することができます。

➢ ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新ができます。

■ システム情報

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ ライセンス

本機が使用しているソフトウェア情報を表示します。

➢ ソフトバージョン情報

本機のソフトウェアのバージョン情報などを表示します。

■ 初期設定リセット

ネットワークやリモコン、視聴制限などの設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
- 電源切 / 入時の音

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源プラグを抜いてから 3 分以上待ってください。
- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ソフトウェアを更新していますか？

映画の再生時などの動作を改善するために、ソフトウェアは随時更新されています。(➜ 12)

本機が操作を受け付けなくなったときは

電源プラグをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込んでください。

ディスクが取り出せないときは

① 本機の電源を「入」状態にする
② リモコンの **[決定]**、**[青]**、**[黄]** を同時に５秒以上押す
– 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
③ 本体表示窓に「06 FTO」が表示されるまでリモコンの **[▶]**（右）を数回押す
④ **[決定]** を押す

いろいろな操作

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻すには？
➢ 「初期設定リセット」で「する」を選びます。(➜ 26)

お買い上げ時の設定に戻すには？
➢ 下記の操作をすると、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
① 本機の電源を「入」状態にする
② リモコンの **[決定]**、**[青]**、**[黄]** を同時に５秒以上押す
– 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
③ 本体表示窓に「08 FIN」が表示されるまでリモコンの **[▶]**（右）を数回押す
④ **[決定]** を５秒以上押す

リモコンが働かない
➢ 本機とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンコードが変更される場合があります。その場合は設定をし直してください。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]** を３秒以上押したままにしてください。

テレビの電源を入れたとき、テレビ放送が映らない
➢ 「クイックスタート」が「入」の場合、テレビの設定などによってこの現象は起こります。
➢ テレビによってはHDMIケーブルを別のHDMI入力端子に差し換えたり、テレビのHDMI自動切換などの設定を変えると、この現象を防ぐことができます。

暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい
➢ 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
① 本機の電源を「入」状態にする
② リモコンの **[決定]**、**[青]**、**[黄]** を同時に５秒以上押す
– 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
③ 本体表示窓に「03 VL」が表示されるまでリモコンの **[▶]**（右）を数回押す
④ **[決定]** を押す

USB 接続を正しく認識しない

- ➢ USB を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
- ➢ 以下のものを使って本機に USB 機器を接続した場合は、認識しないことがあります。
  – USB ハブ
  – USB 延長ケーブル
- ➢ 本機に USB 接続の HDD を接続する場合、HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

映像

映像が出ない、映像が乱れる、映像の表示がおかしい

- ➢ 「HDMI 出力解像度」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか。
  下記の操作をすると、設定を解除できます。

① 本機の電源を「入」状態にする
② リモコンの **[決定]**、**[青]**、**[黄]** を同時に5秒以上押す
  – 本体表示窓に「00 RET」が表示されます。
③ 本体表示窓に「04 PRG」が表示されるまでリモコンの **[▶]**（右）を数回押す
④ **[決定]** を 5 秒以上押す
  もう一度設定する **(➜ 22)**
  – Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、DTS-HD の音声が適切に出力されなくなった場合は、「初期設定リセット」で「する」を選んでから、正しく設定し直してください。**(➜ 26)**

- ➢ 「3D ディスクの再生方法」が「3D 再生」に設定されている場合、接続方法によっては映像が正常に出力されない場合があります。一度ディスクを取り出してから「再生時選択」を選び直し、3D ディスク再生時に表示される設定画面で「2D 再生」を選んでください。**(➜ 23)**
- ➢ 24p(4K) 出力しているとき、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。

映像が出力されない

- ➢ 「HDMI(SUB) 出力モード」が「音声専用」に設定されていると、HDMI(SUB) 端子から映像は出力されません。**(➜ 22)**

ハイビジョン映像で出力されない

- ➢ 「HDMI 出力解像度」を正しく設定してください。**(➜ 22)**

3D 映像が出力されない

- ➢ Full HD 形式の TV に接続してください。
- ➢ 本機とテレビの間に3D非対応のアンプを接続していませんか。**(➜ 9)**
- ➢ 3D非対応のアンプをHDMI(SUB) 端子に接続している場合、「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定してください。**(➜ 9)**
- ➢ 本機とテレビの設定は正しいですか？ **(➜ 15)**
- ➢ 本機とテレビの間に接続しているアンプの電源は入っていますか。
- ➢ 接続しているテレビによっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。テレビ側の 3D 設定をご確認ください。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

- ➢ 「3D ディスクの再生方法」で「再生時選択」を選んで、3D ディスク再生時に表示される設定画面で「2D 再生」を選んでください。**(➜ 23「3D ディスクの再生方法」)**
- ➢ 3D をお楽しみいただけるディスクや、サイドバイサイド（2画面構成）などの放送を記録したディスクは、テレビ側の設定に従って再生されます。

映像の上下左右に黒帯がついて再生される画面サイズがおかしい

- ➢ 「TV アスペクト」を正しく設定してください。**(➜ 25)**
- ➢ テレビ側で画面サイズ比を変更してください。

音声

音声が切り換えられない

- 「デジタル出力」を「Bitstream」にしている場合、切り換えられません。「PCM」に設定してください。**(➜ 23)**

聞きたい音声が聞こえない

- 接続や「デジタル出力」の設定を確認してください。**(➜ 9、23)**
- テレビを HDMI(MAIN) 端子に接続し、アンプを HDMI(SUB) 端子に接続している場合、「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定してください。**(➜ 9)**
- HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、「HDMI 音声出力」を「入」にしてください。**(➜ 23)**

TV から音が出ない

- アンプを HDMI(SUB) 端子に接続し、「HDMI(SUB) 出力モード」を「音声専用」に設定している場合、テレビから音声は出力されない場合があります。その場合は、アンプから音声を出力してください。テレビから音声を出力する場合は、「HDMI(SUB) 出力モード」を「ノーマル」に設定してください。**(➜ 22)**

再生

ディスクの再生が始まらない、またはすぐに停止する

- ディスクが汚れていませんか。**(➜ 4)**
- ディスクがファイナライズされていません。**(➜ 6)**

写真（JPEG）が正しく再生できない

- プログレッシブ JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

BD ビデオの BD-Live が再生できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。**(➜ 11、12)**
- 「BD-Live インターネット接続」を確認してください。**(➜ 24)**
- USB機器がUSB端子に正しく接続されているか確認してください。**(➜ 13)**

ネットワーク

ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。**(➜ 11、12、24)**
- 接続した機器の説明書や接続を確認してください。

DLNA 対応機器のコンテンツを再生できない

- 接続した機器側で本機が登録されていますか。
- すべてのコンテンツを再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

こんな表示が出たら

テレビ画面または本体表示窓にメッセージや数値が表示された時は、下記をご確認ください。

- 下記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」**(➜ 41、42)** へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、テレビ画面または本体表示窓に表示されるメッセージをお知らせください。

テレビ画面

再生できません。

➢ 非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。

本機では再生できません。

➢ 非対応の画像を再生しようとしています。
➢ メディアを入れ直してください。

ディスクが入っていません。

➢ ディスクが裏返しになっていませんか。

⃠ この操作はできません。

➢ 本機が操作を制限しています。
（例：逆スロー再生など）

IP アドレスが設定されていません。

➢ 「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）

本体表示窓

NET

➢ インターネットに接続中です。

No PLAY

➢ BD ビデオまたは DVD ビデオで視聴制限がかかっています。**(➜ 25)**
➢ メディアに汚れや傷がついているため、再生できません。

U82

➢ USB 機器接続に異常が発生しました。接続した USB 機器を本機から外してください。

U30 □ (□ は数字)

➢ 本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]** を3 秒以上押したままにしてください。

U59

➢ 本機の内部温度が上昇しているので、安全のため動作停止中です。
約30分間お待ちください。
できるだけ風通しのよいところに設置してください。

H□□ または F□□　(□ は数字)

➢ 異常が発生しました。電源を一度、切 / 入してください。

START

➢ ソフトウェアの更新のため、本機が再起動中です。本機の電源を切らないでください。

UPD□/□　(□ は数字)

➢ ソフトウェアの更新中です。
本機の電源を切らないでください。

FIN

➢ ソフトウェアの更新が完了しました。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

総合

電源 AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 動作時：約 11 W
待機時 （クイックスタート「切」）：約 0.5 W
待機時 （クイックスタート「入」）：約 6 W

寸法	幅 430 mm× 高さ 41 mm × 奥行き 184 mm（突起部を含む）
質量	約 1.6 kg
許容周囲温度	5 ℃～35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH（結露なきこと）
SDカード スロット	1系統
USB 端子	USB2.0 準拠（1 系統）
LAN 端子	10BASE-T/100BASE-TX（1系統）
HDMI 映像・音声出力	出力端子：19ピン typeA端子（2 系統） 出力解像度： 480/60p、720/60p、1080/60i、1080/60p、1080/24p、4K/24p
デジタル音声出力	光デジタル音声出力端子：光コネクター（1系統）

ファイルフォーマット

ファイルフォーマット	拡張子	備考
MP3	“.MP3”、“.mp3”	本機は ID3 タグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。
JPEG	“.JPG”、“.jpg”	● MOTION JPEG、プログレッシブ JPEG：非対応 ● パソコンなどでフォルダ構造やファイル名を編集したものは再生できない可能性があります。
MKV	“.MKV”、“.mkv”	● 映像解像度やフレームレートによって、再生できないものもあります。
FLAC	“.FLAC”、“.flac”	最大 :192 kHz/24 bit
WAV	“.WAV”、“.wav”	最大 :192 kHz/24 bit
MPO	“.MPO”、“.mpo”	3D 写真
AAC	“.M4A”、“.m4a”、“.AAC”、“.aac”	本機は ID3 タグに対応しています。 最大 :48 kHz/320 kbps
WMA	“.WMA”、“.wma”	本機は ID3 タグに対応しています。 最大 :48 kHz/355 kbps

● メディアやフォルダの作り方によっては、再生順が異なったり再生できない場合があります。

必要なとき

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

アンプに接続する端子と本機の設定によって、出力される音声は異なります。**(➜ 23「デジタル出力」)**

- 表内の ch（チャンネル数）は、各音声フォーマットに対応したアンプと接続したときの最大チャンネル数を表しています。

	接続端子	「デジタル出力」	
		「Bitstream」	「PCM」
出力チャンネル	HDMI 映像・音声出力端子※2	オリジナルの音声で出力※1	BD ビデオ：7.1ch PCM※1 DVD ビデオ：5.1ch PCM
	デジタル音声出力（光）端子	Dolby Digital/ DTS Digital Surround/ AAC	ダウンミックス 2ch PCM

※1 「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定した場合、Dolby Digital、DTS Digital Surround または 5.1ch PCM で出力します。

※2 「DTS Neo:6」を「シネマ」または「ミュージック」に設定すると、2ch (2.1ch) 音声を 7ch (7.1ch) 音声に拡張して出力することができます。**(➜ 23)**

DLNA 再生可能ファイルフォーマット

- DLNA サーバーで対応していないファイルフォーマットは、再生できません。

映像

コンテナ	映像コーデック	音声コーデック	拡張子例
AVCHD	H.264	Dolby Digital	.mts
MP4	H.264	AAC	.mp4
PS	MPEG2	Dolby Digital リニア PCM	.mpg .mpeg
TS	MPEG2 H.264	AAC Dolby Digital	.m2ts .ts

写真

フォーマット	拡張子例
JPEG	.jpg

音声

音声コーデック	拡張子例
MP3	.mp3
FLAC	.flac
AAC	.m4a
WMA	.wma
リニア PCM	—

言語

表示	言語
日	日本語
英	英語
仏	フランス語
独	ドイツ語
伊	イタリア語
西	スペイン語
蘭	オランダ語
中	中国語
露	ロシア語
韓	韓国語
*	その他

言語番号一覧

言語	番号
アイスランド:	7383
アイマラ:	6589
アイルランド:	7165
アゼルバイジャン:	6590
アッサム:	6583
アファル:	6565
アフリカーンス:	6570
アブハジア:	6566
アムハラ:	6577
アラビア:	6582
アルバニア:	8381
アルメニア:	7289
イタリア:	7384
イディッシュ:	7473
インターリングア:	7365
インドネシア:	7378
ウェールズ:	6789
ウォロフ:	8779
ウクライナ:	8575
ウズベク:	8590
ウルドゥー:	8582
ヴォラピュック:	8679
英語:	6978
エストニア:	6984
エスペラント:	6979
オーリヤ:	7982
オランダ:	7876
カザフ:	7575
カシミール:	7583
カタロニア:	6765
ガリチア:	7176
韓国(朝鮮)語:	7579
カンナダ:	7578
カンボジア:	7577
キルギス:	7589
ギリシャ:	6976
クルド:	7585
クロアチア:	7282
グアラニー:	7178
グジャラト:	7185
グリーンランド:	7576
グルジア:	7565
ケチュア:	8185
ゲール(スコットランド):	7168
コーサ:	8872
コルシカ:	6779
サモア:	8377
サンスクリット:	8365
ショナ:	8378
シンド:	8368
シンハラ:	8373
ジャワ:	7487
スウェーデン:	8386
スペイン:	6983
スロバキア:	8375
スロベニア:	8376
スワヒリ:	8387
スンダ:	8385
ズールー:	9085
セルビア:	8382
セルボクロアチア:	8372
ソマリ:	8379
タイ:	8472
タガログ:	8476
タジク:	8471
タタール:	8484
タミル:	8465
チェコ:	6783
チベット:	6679
中国語:	9072
ティグリニア:	8473
テルグ:	8469
デンマーク:	6865
トウイ:	8487
トルクメン:	8475
トルコ:	8482
トンガ:	8479
ドイツ:	6869
ナウル:	7865
日本語:	7465
ネパール:	7869
ノルウェー:	7879
ハウサ:	7265
ハンガリー:	7285
バシキール:	6665
バスク:	6985
パシュト:	8083
パンジャブ:	8065
ヒンディー:	7273
ビハール:	6672
ビルマ:	7789
フィジー:	7074
フィンランド:	7073
フェロー:	7079
フランス:	7082
フリジア:	7089
ブータン:	6890
ブルガリア:	6671
ブルターニュ:	6682
ヘブライ:	7387
ベトナム:	8673
ベロルシア(白ロシア):	6669
ベンガル(バングラ):	6678
ペルシャ:	7065
ポーランド:	8076
ポルトガル:	8084
マオリ:	7773
マケドニア:	7775
マダガスカル:	7771
マライ(マレー):	7783
マラッタ:	7782
マラヤーラム:	7776
マルタ:	7784
モルダビア:	7779
モンゴル:	7778
ヨルバ:	8979
ラオ:	7679
ラテン:	7665
ラトビア(レット):	7686
リトアニア:	7684
リンガラ:	7678
ルーマニア:	8279
レトロマンス:	8277
ロシア:	8285

著作権など

サービス事業者が提供するテレビでネットのサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,212,872; 7,333,929; 7,392,195; 7,272,567 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。DTS-HD、シンボルマークおよび DTS-HD とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。
  © DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD 3D/Progressive”はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- “DVD Logo”は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA,LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- Microsoft、Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
- 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの 一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきラインセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2. 1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (３) ～ (５) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/bdplayer/AWBPM13A.html

Adobe Systems Incorporated およびその関係会社によってライセンスされた Adobe Flash Lite for Digital Home Software

Adobe Flash Lite for Digital Home Software(“Flash Software”) について、以下の点に注意してください。
(i) Flash Software を第三者に対して、頒布、複製してはならない
(ii) Flash Software を修正したり、Flash Software の派生物を作成したりしてはならない
(iii) Flash Software を、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、分解、その他知覚可能な形に変換してはならない
(iv) Flash Software から生じた又は関連する、直接、間接、特別の、偶発的、懲罰的、派生的損害を含む如何なる損害を主張してはならない
(v) Flash Software の所有権は、パナソニック㈱および／またはそのサプライヤー、ライセンサーに帰属することに合意する
(vi) Flash Software の最新バージョンを取得およびインストールしない限り、コンテンツにアクセスできないことがあることを合意し、認める

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

警告

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）
傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすと、ショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

⚠ 警告

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 側面の通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

⚠ 注意

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクや SD カード、USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

機器の前にものを置かない

リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開 / 閉ボタンを押さないようご注意ください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D 映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、「3D 設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 〜 6 歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D 映画などを視聴する場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名			
電話	（　　　）	−	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「故障かな！？」「こんな表示が出たら」**(➜ 27 ～30)** でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	ブルーレイディスクプレーヤー
● 品　番	DMP-BDT330
● 故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間 ：お買い上げ日から本体 1 年間

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は･･･

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口

電話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル　パナは　キュウハチニ

0120-878-982

携帯･PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 修理に関するご相談は･･･

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル　パナは　イイヨ

0120-878-554

携帯･PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1255	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8478	帯広市西20条北 2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
東北地区		
青 森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡 字稲村262-1
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町 7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市備前舘2丁目5
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野 5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目 266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松 2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町 8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原 3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	門真市松生町1-15
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町 800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台 3丁目13-4
中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田 3丁目20-14
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音 1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分 359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉 75-1
九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸 字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉 2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

1112

さくいん

● 使いかた・お手入れなどのご相談は …………

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口

電 話　365日 受付9時～20時

フリーダイヤル　パナは　キュウハチニ

0120-878-982

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号が
ご利用いただけない場合　**06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444

Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は …………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル　パナは　イイヨ

0120-878-554

携帯・PHS OK

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

● 有料で宅配便による引取・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

愛情点検　**長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を!**

こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571－8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT4X03
F0213HA0